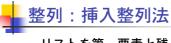




分割統治法

効率のよいアルゴリズムの設計の有用 な方法の一つ

問題Pを幾つかの部分問題(それぞれはPと同類の問題であるが、入力の大きさが小さいもの)に分割し、部分問題の解を集めてもとの問題の解とする手法



■ リストを第一要素と残りの部分に分割 して処理を行う。

$$\begin{split} \Gamma_{\text{insert}}(n) &= O(n) \\ \Gamma_{\text{isort}}(n) &= T_{\text{insert}}(0) + T_{\text{insert}}(1) + ... + T_{\text{insert}}(n) \\ &= O(n^2) \end{split}$$



併合整列法

リストをほぼ同じ大きさの2つの部分に分割し、それぞれの部分を整列したあとで併合する。



クイック整列法

複雑な分割+簡単な統合

T_qsort(n) = O(n^2) (平均的に O(n log n))

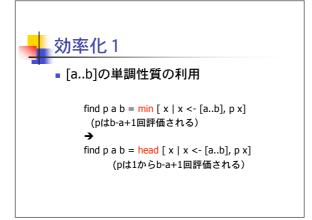


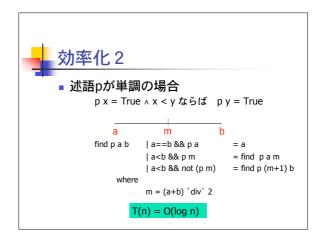
二分探索法

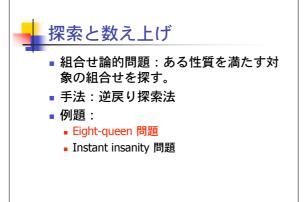
- 問題
 - 整数aと整数 b と述語 p が与えられたとき、 区間[a..b]内でp xが成立するような最小の x を求める。
- 仕様

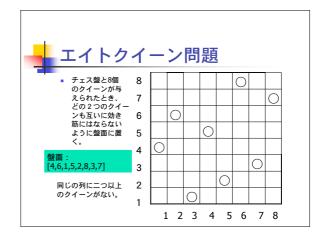
find p a b = min [$x \mid x \leftarrow [a..b]$, p x]

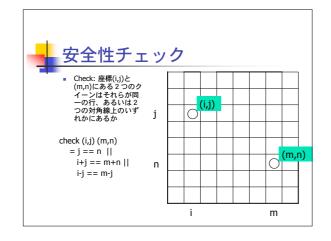
- 正しい:問題の翻訳
- 効率が悪い ← b-a+1回のpの計算が必要

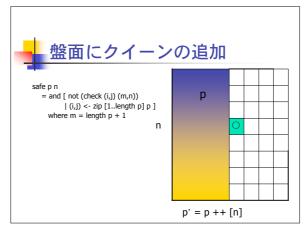


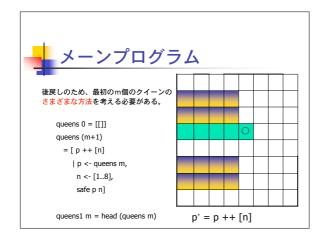


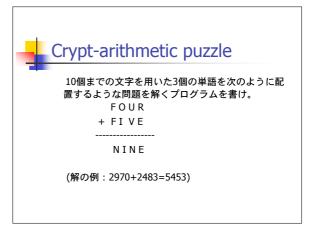


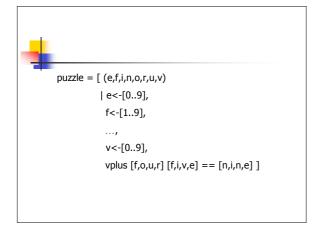














■ 日時:2月9日

8:30~10:00まで

■ 場所: 63号室

■ 教科書、ノートを持ち込み可